

### 空気乾燥中につき注意!

#### 山火事防止をパレードで呼びかけ

行楽シーズンとなるこれからの時期は、屋外での活動が増えると同時に、乾燥した空気と強風などによる気象条件のため、林野火災が最も発生しやすくなります。

このため、林野火災の防止を目的としたパレードが4月14日に実施され、役場前で出発式を行ったあと、町内を一周して山火事防止と森林保護を呼びかけました。



### 農作物を霜から守れ!

#### 町防霧対策本部を設置

農作物の霜災害を未然に防止するため、4月3日に野崎町長を本部長とする「矢吹町防霧対策本部（産業振興課内）」を設置しました。対策本部では5月31日までの期間中、町内に降霜が予想され農作物に被害発生が見込まれる場合、防災無線による注意の呼びかけ（午後5時頃）を行います。なお、降霜により農作物に被害を受けた場合には、最寄りの農協へ被害状況の報告をお願いします。

● 産業振興課農政係

☎ (42) 2115



#### ※こんな時、霜にご注意

①日中快晴で温かく、夕方から冷えて空気が乾燥している時②夜間は雲や風が無く、月や星が見える時③翌朝の最低気温が4度以下の予報が出た時。

### 自衛官募集相談員委嘱状交付

4月7日、自衛官募集相談員3名への委嘱状交付式が役場公室で行われました。

交付式では、自衛隊福島地方協力本部の中村正秀募集課長ら10名が出席する中、渡辺副町長から一人ひとりに委嘱状が手渡されました。

相談員のみなさん、国の安全を守る誇り高き自衛官の募集支援に、ご協力願います。

#### ●相談員（写真右から）

加藤久美子さん（中町）

大越 照子さん（東郷）

菅野 耕一さん（小松）



# 「矢吹の教育を考える会」

平成21年5月1日

この会は、「矢吹町に在住する全町民の力を結集し、矢吹町の児童生徒の健全育成と町民の教育に関する意識の高揚を図ることを目的」（会則第2条）としています。

町民の皆様は本会の活動を知っていただくために、今年も広報「やぶき」の紙面をお借りして活動の様子をお伝えいたしますので、よろしくお願いいたします。

## 平成20年度はこんな活動を行いました

### ☆地域懇談会☆

各小学校区毎に、児童生徒の健全育成について、地域の方々と一緒に懇談しました。実施日は下の通りです。

- ・矢吹小地区、中畑小地区 7/17
- ・三神小地区 7/24
- ・善郷小地区 7/28



様々な関係の方々、町の児童生徒の健やかな成長を願って話し合いをすることは、大変有意義な機会です。今年度も行いますので是非ご参加下さい。



### ☆校外補導・親子奉仕活動☆

真夏の夜の鼓動、やぶき夏祭り、産業祭等での巡回補導や各小中学校、関係諸機関と連携した奉仕活動等にも積極的に参加しました。

### ☆町民集会☆

全国的に著名な前矢祭町長根本良一氏を講師にお迎えし、「次代を担う子どもを育てるために、大人は何をすべきか」という演題で教育講演会を開催しました。

約200名の町民の方が参加され、文化センターの小ホールがいっぱいになりました。皆様のご協力に感謝いたします。

### ☆広報活動☆

「やぶき」の紙面をお借りして、定期的に活動の様子をお知らせしてきました。記事の内容については、町内の小中学校が輪番で担当しましたのでそれぞれの特徴もお伝えできたのではないかと思います。

### ☆陳情活動☆

教育環境の整備等について各小中学校の要望事項を取りまとめ、町当局に要望書として提出しました。

また、矢吹中学校早期建設や子どもたちの安全な登下校のための歩道の整備等についても保護者や地域の切実な声として町当局に届けました。

今年度も、矢吹町児童生徒の健全育成のために、会員一同、町民の皆様のご支援・ご協力をいただいで一生懸命取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

\*「矢吹の教育を考える会」についての問い合わせは、矢吹町教育委員会学校教育課（44-4400）

または、事務局：矢吹小学校（42-3115）までお願いいたします。

忠	雄	八	千	代	貞	能	貞	久	子	能	貞	北	風	の	口	笛	を	聞	く	年	の	暮	れ	祝	い	酒	宴	然	な	父	の	目	が	潤	む	八	千	代	忠	雄				
さ	わ	や	か	な	笑	顔	で	届	く	旬	の	味	祝	い	酒	宴	然	な	父	の	目	が	潤	む	八	千	代	祝	い	酒	宴	然	な	父	の	目	が	潤	む	八	千	代	忠	雄

文

芸

## 私のひと言 「感謝」と「思いやり」

春、本番。一年中で最も美しい季節。私が一番好きな季節でもある。この素敵な季節に感謝したい。

さて、春を迎えた今頃から結婚シーズンも到来する。遂、先日も若者の門出を祝った。スピーチで必ず話をさせていただく言葉に「感謝」と「思いやり」がある。

「感謝」をする。何気なく使われている言葉だが、何故、感じて謝ると書いて「ありがとう」なのか疑問に感じる人も多いのではないのかと思う。感謝の語源の由来は中国にあり、中国の「ありがとう」が「謝謝（シェー、シェー）」と聞けば成るほどと納得できるか。謝りたいほど、申し訳なくありがたい、ということだそう。

一人の人間として、初めて出会った親のありがたさ、とりわけ、何の力も持たずに生まれてくる赤ちゃんを深い愛情で守り育ててくれた母親に感謝し、一人では生きてこれなかった自分が、多くの友人、知人、つまり他人によって支えられていることにも感謝する心を忘れてならないことをあらためて認識していただくためにも、話をさせていたでいる。

また、「思いやり」についても、感謝を基本に成り立っていることを踏まえて話をさせていたでいる。夫婦として、お互いがお互いを思いやる。簡単なようだが、これがなかなか難しい。この「思いやり」についても、それらを解き明かす本に出会ったので、紹介したい。

チベットのアライ・ラマ14世が著した「思いやり」の本がそう。アライ・ラマ14世は、著書の中で『思いやりの心があれば、人生に起こる苦しみや問題は解決でき、さらに人間の持っている知性と他者へのやさしさ、思いやりこそ、最も大切な人間の価値だ』と言い切っている。しかも、私たちが人間誰にも、これら多くの問題を解決していく能力がもともと備わっているのであり、相手を理解することに努め、違う考え方を受け入れる、つまり、思いやりの心、即ち、人を愛する心を育てることの大切さを説いている。

人は一人では生きていけないこと、自分の利益のみを追求することや、自分一人だけ幸せになれたらそれでいい、他の人たちなどどうでも構わないといった考えを改め、他者に対するやさしさと思いやりの心をもちつづけていくことの大切さを、この本は教えてくれている。

私のひと言を書き終えた今、私のデスクの脇の壁に貼ってある「おかげさま」の文をあらためて読み直している。



矢吹町長  
野崎吉郎

## 町消防団辞令交付式 昇格団員62人、新入団員26人

平成21年度「矢吹町消防団辞令交付式」が4月5日、町文化センターで行われました。はじめに野崎統監から小磯団長へ二期目の辞令が交付され、これを受け団長が団員87名に辞令を交付しました。

また、新入団員を代表して丹内寛人さん（第3分団第1部）の力強い宣誓があり、統監あいさつ、団長訓示、来賓祝辞で式が締めくくられました。

なお、交付式終了後、規律・礼式訓練が行われ、団員のみなさんは号令に合わせ整然かつ迅速な動きで訓練に取り組みました。町民の「安心」を守る団員のみなさん、今年もよろしく願います！



## 「新・矢吹方式」による、交通安全啓発活動実施

4月6日から10日間展開された「春の全国交通安全運動」。町では7日、町福祉会館周辺で交通安全啓発活動が実施されました。

交通安全・防犯団体が一致団結してそれぞれの事業に取り組み、いわゆる「新・矢吹方式」で実施した今回の活動には、約40名が参加、白河警察署長はじめ矢吹交番所長、警察署員、県南地方振興局職員も加わり、道ゆくドライバーに交通安全を呼びかけました。

交通安全運動期間は終了しましたが、わが町は「365日交通安全運動期間」。交通事故防止にみなさん、ご協力下さい。

